

2019年5月13日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 執 行 役 員 社 長
 船 越 秀 明
 (コード番号 6839 東証第一部)
 問 合 せ 先 IR・広報室
 TEL 072-870-4395

通期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2018年11月5日に公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)通期の連結業績予想数値と実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2018年11月5日 発表予想 (A)	百万円 105,000	百万円 400	百万円 400	百万円 1,200	円 銭 35.17
実績値 (B)	105,549	682	1,392	2,613	76.59
増減額 (B-A)	549	282	992	1,413	
増減率 (%)	0.5	70.5	248.0	117.8	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	130,130	△10,885	△11,909	△24,709	△724.21

2. 差異の理由

売上高は、概ね計画通りに推移し、前回発表予想通りの見込みとなりました。

営業利益につきましては、主要製品である液晶テレビの液晶パネルなどの部材価格が下落していること、特にメキシコ市場やオフィスソリューション事業におきまして不採算製品の販売を見直したこと、製造原価や販売費及び一般管理費の削減効果が一定規模でていることなどもあり、前回発表予想を上回る見込みとなりました。経常利益につきましては、第2四半期末以降の為替相場が円高傾向に進行するものと予想しておりましたが、当連結会計年度末の為替相場が想定よりも円安となったことから、前回発表予想を上回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の内容に加え、北米販社の合併に伴う法人税等調整額(益)を計上したことなどにより、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上